

平成25年度施策評価シート(平成24年度実施事業)

施策名	青少年育成	施策コード	作成主管課	生涯学習課
		5-1-3	関係課	

総合計画後期基本計画の内容

政策体系	政策	第5章 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり〔教育・文化〕
	小政策	1 次代を担う子どもを育みます
現況と課題	<p>グローバル化や高度情報化の進展は、新しい価値をもたらす一方で、青少年における新たな負の影響をもたらす一面もっています。また、雇用環境の変化に伴う経済的な格差や将来への不安が発生しています。国においては、平成22年に子ども・若者の最善の利益を尊重することなどの5つの理念を掲げた「子ども・若者ビジョン」が制定され、その中で子ども・若者の育成は「未来への投資」「社会への投資」と位置づけた施策推進の姿勢が示されています。</p> <p>本市では、青少年相談員や市内青少年の健全育成に協力する店などと連携した社会浄化活動や学校、地域との連携強化の推進、さらには、青年リーダーの養成、子ども会の活動支援といった人材育成や活動団体の支援を実施しながら、子どもたちが心身共に健康で人間性豊かに成長できるよう支援を展開してきました。今後は、子どもたちを取り巻くさまざまな環境変化に適切に対応できる人材を育成していくためにも、教育、福祉、保健、更生保護、雇用など分野横断的に、家庭・学校・地域社会全体で子どもたちを育てていく機能を強化していく必要があります。</p>	
施策目標	次代を担う青少年を健全に育成するため、青少年団体の充実を図るとともに、関係団体や機関との連携を強化し、地域社会全体で育てていく環境を構築します。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	
-------------	--

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
心身ともに健やかな子どもたちを地域ぐるみで育成していると感じている市民の割合	市民実感度	48.680	35.450				
	加重平均値	2.491	2.307				
	市民実感度						
	加重平均値						
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		90.460				
	加重平均値		3.515				

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
子ども会加入児童率	目標値	%		93.0	94.0	95.0	95.0	95.0
	実績値	%	92.1	88.2				
	達成度	%		94.83				
	ベンチマーク							
	目標値	%		43.0	44.0	45.0	45.0	45.0
「青少年の健全育成に協力する店」加入率	目標値	%		42.9	42.3			
	実績値	%	42.9	42.3				
	達成度	%		93.37				
	ベンチマーク							
	目標値	%						
	目標値	%						
	実績値	%						
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値	%						

数値指標の考え方	指標設定の考え方	<p>○様々な体験活動を通じて自主性や社会性を育むことができるため指標とすることができる。</p> <p>○青少年の健全育成に協力する店の加入を促進し、地域で青少年の非行を防止することができるため指標とすることができる。</p>
	目標値設定の考え方	<p>○少子化等により子ども会活動が困難になる中、地域単位で子ども会加入率の向上を目指す。</p> <p>○青少年の非行を防止するためにも地域のコンビニや本屋等のお店への登録率の向上を目指す。</p>

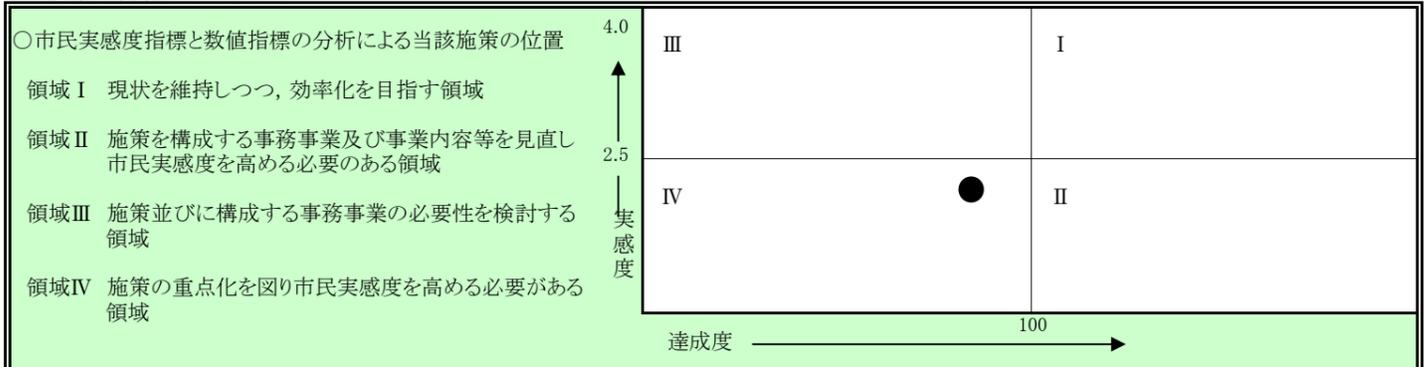
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 地域の子どものは地域で育てたり守ったりするという意識の醸成を図るため、地域における繋がりを強化していく。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 青少年団体を中心に様々な分野における市民団体や関係機関との連携強化を図り、地域が一体となって取り組む環境を構築し、子ども達の健やかな成長を支援します。

3 平成24年度取組状況

取組状況等	<p>取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。</p> <p>○子ども会事業では、姉妹都市である矢板市子ども会との交流会や球技大会、夏休み作品コンクール、支部単位子ども会の活性化と地域の異年齢間交流事業、子ども救急フェスタの開催、小学4・5年生を対象に野外における自然体験やKYT講習を実施した。また、アンケートによる子ども会規模や運営について検討を行っていくことになった。</p> <p>○青少年相談員事業では、市内中学校への訪問活動や祭りや卒業式の巡視、国立きぬ川学院への研修視察を実施したほか、今年度より青少年の健全育成に協力する店訪問は、班編成により相談員が自主性をもって活動した。</p>
-------	---

4 施策の評価(現状分析)



指標を分析した結果施策目標は達成されたのか

達成度評価	<p>家庭の形態や生活様式の変化により、子ども会加入児童率は、23年度92.1%に対し88.2%と3.9ポイント下回った。青少年健全育成に協力する店が閉店により加入率は23年度43.0%に対し42.3%と0.7ポイント下回った。</p>
-------	--

施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か

構成事務事業の適正性	<p>施策目標を達成するための事業構成は妥当であり、豊かな文化を創造・発信するまちづくりを進めていくため、今後も関係団体や機関との連携を強化し、地域社会全体で育てていく必要がある。しかしながら少子化や地域の希薄化、生活様式の変化により高校生会の会員は募集するも減少傾向であり、今後については高校生に限らず幅広く次世代の担い手となる青年リーダーの人材育成を検討していかなければならない。</p>
------------	--

平成25年度以降に残る課題、その要因として考えられること。

残された課題	<p>子どもたちの環境も多種多様になってきたり、家族の形態や生活様式も変わったり、核家族化や地域のつながり希薄化が進んでいる。</p>
--------	---

5 今後の方向性

取組方針	<p>平成26年度に向けた施策方針</p> <p>青少年の育成には、身近で誰もが参加でき、異年齢交流や様々な体験活動が行われる子ども会事業が必要である。年間事業の計画につながる組織などの諸問題を精査し事業の効率化を図るとともに事業のより良い運営を図るため、指導者等の派遣・斡旋を調査・研究し指導者等を養成し、育成会を支援する。</p> <p>また、青少年の健全な育成を図るため、青少年相談員が自らの地域を中心に巡視や情報収集のための中学校訪問、青少年が主に立ち寄りそうな店(コンビニ・本屋)へ積極的に協力を依頼していく。</p>
------	--

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果				補助区分	事業費(千円)			貢献度評価	
			成果指標	単位	平成22年度	平成23年度		平成24年度	平成22年度	平成23年度		平成24年度
1	笠間市PTA連絡協議会補助金事務	政策的事業	PTA連絡協議会事業数	件	12	20	12	市単	267	258	258	8
2	青少年相談員事業	政策的事業	活動に参加した延べ人数	人	189	232	230	市単	1,732	1,051	1,175	6
3	高校生会事業	政策的事業	会員数	人	19	10	5	市単	121	25	21	休廃止
4	ひたちなか市との職業体験交流事業	政策的事業	事業に満足した割合	%	0	0	100	市単	4	0	12	5
5	いばらき若者塾補助金事務	政策的事業	事業応募者数	人	0	1	0	市単	0	50	0	10
6	子ども会事業	政策的事業	事業参加率	%	33	32	36	市単	590	571	585	1
7	成人式事業	政策的事業	成人式参加者数 実行委員数	人	665 6	679 7	683 7	市単	1,296	1,438	1,656	3
8	青少年育成市民会議事業	政策的事業	事業回数	回	0	70	70	市単	69	69	69	6
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
事業費合計									4,079	3,462	3,776	

シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

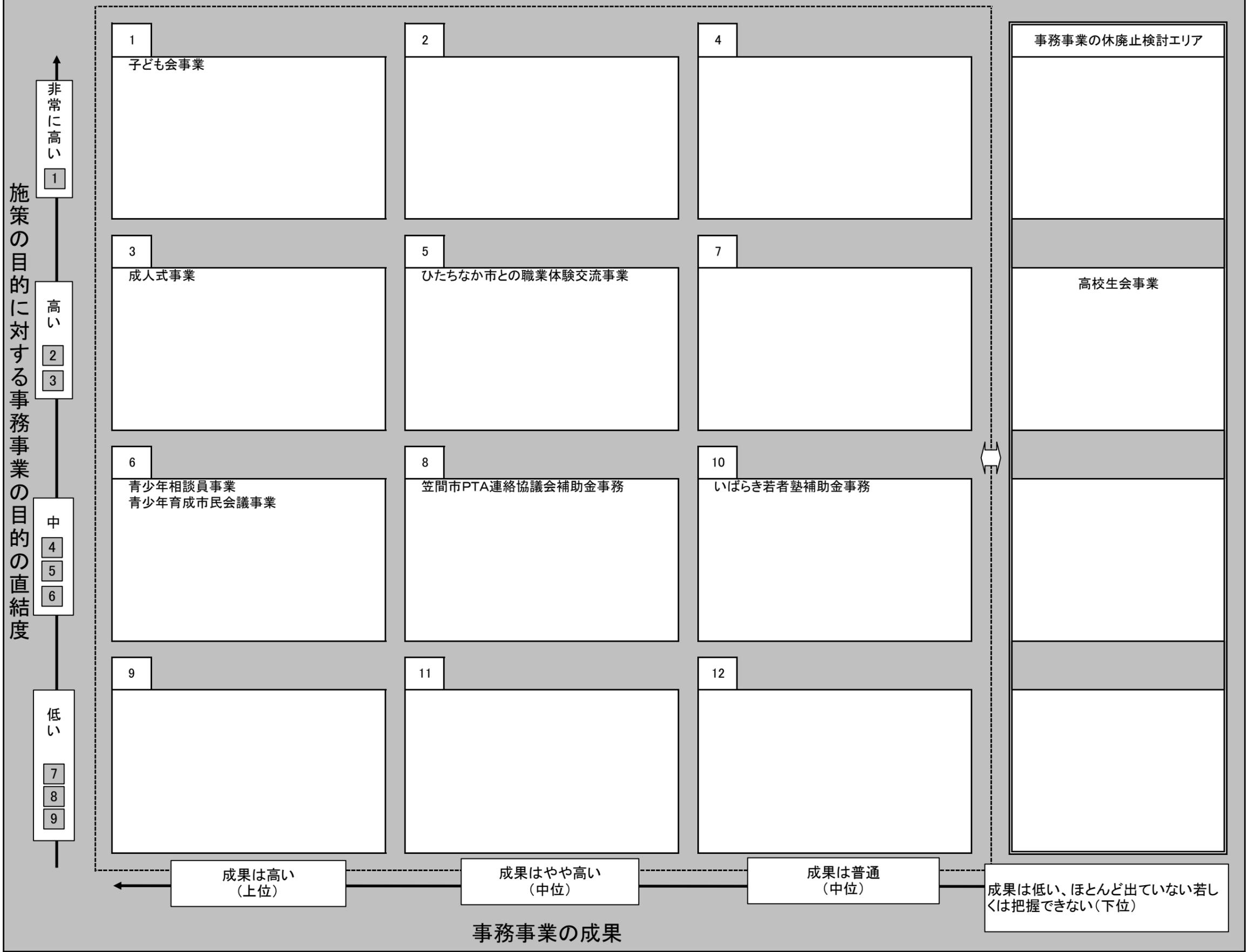
施策名 青少年育成



法定受託事務(義務的事業に分類)

シート2施策構成事務事業貢献度評価

施策名 青少年育成



法定受託事務(義務的事業に分類)